

《研修場所》

セブ島:フィリピン

《研修目的》

- (1)海外の歴史や文化に触れ、国際理解を深め、豊かな感性を身に付ける。
- (2)異文化交流を通じ、語学力を向上させる。
- (3)班別行動を通じ、主体性・協働性を身に付ける。

《集合時間》

**5月18日(月)11:30 (時間厳守)**

※私服、運動靴(サンダル不可)で集合すること。

※当日の欠席や遅刻の場合、11:00までに学校へ電話連絡すること。

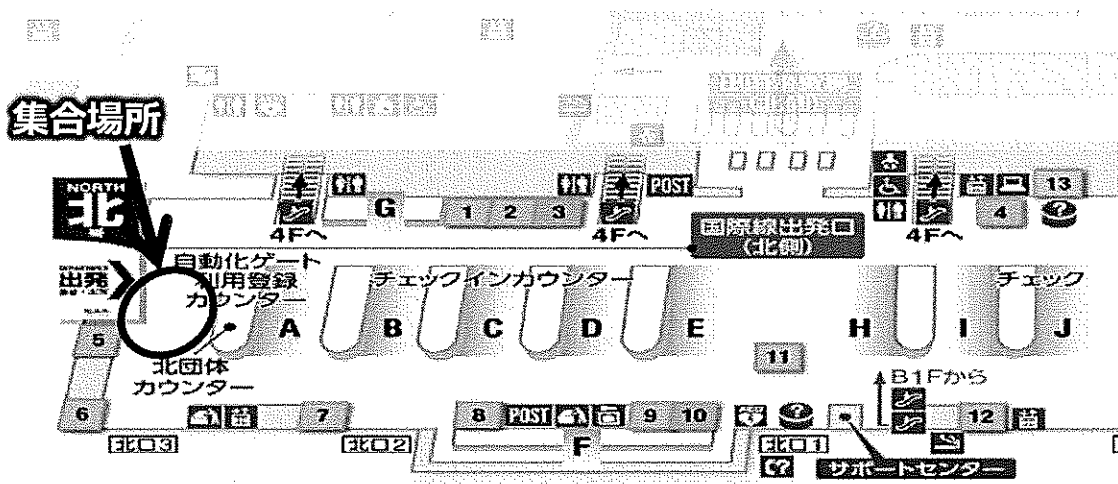
明聖高等学校 TEL 043-225-5622

《集合場所》

成田国際空港 第2ターミナルビル 3階 出発ロビー 北団体カウンター付近

※空港内は広いので当日までに集合場所の確認をしておくこと。

《成田国際空港 第2ターミナルビル 3階出発ロビー 見取り図》



《発着便》

往路 5月18日(月) PR433 便

復路 5月22日(金) PR434 便

成田国際空港 15:20 発(日本時刻)

マクタン・セブ国際空港 8:25 発(現地時刻)

マクタン・セブ国際空港 19:35 着(現地時刻)

成田国際空港 14:10 着(日本時刻)

《宿泊場所》

MJ Hotel and Suites(MJ ホテル アンド スイーツ)

住所:80 Apitong Street, Barangay Kamputhaw, Cebu, city Cebu, PHILIPPINES

電話:(63) 998 960 1924

# 諸注意

## 全体

- (1) **研修は団体行動**です。時間と約束を守り、1人ひとりが自覚ある行動を心掛けること。
- (2) 各自日程表を確認し、**10分前行動、5分前集合**を心掛けること。
- (3) 移動時間を含め、(立ち飲み)、食べ歩き(ガム、飴等含む)は一切禁止です。
- (4) **挨拶、返事は元気よく、礼儀正しく**。
- (5) 研修にふさわしくない服装、化粧や装飾品は一切認めません。
- (6) しっかりと話を聞く姿勢をつくること。
- (7) 役割に責任を持ち、主体的に行動すること。

## フィリピン出入国アプリ登録方法

### 5/15～5/17までにやること！

フィリピンへ渡航する全ての渡航者は、**航空機への搭乗前に「eTravel」に登録**する必要があります。  
パソコン、またはスマートフォンからのオンライン登録(URL)となります。

※登録は、**出発予定日の72時間前(3日前)**から登録が可能です。

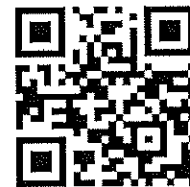
※登録にかかる時間は約10分～15分程度です。

※登録後、出力されたQRコードのスクリーンショットを保存または印刷の上、航空機への搭乗前、及びフィリピン到着時に提示してください。

※偽サイトが多いので必ずURLを確認してください。

※登録は無料であり、クレジットカードの入力画面は存在しません。

eTravel登録フォーム



<https://etravel.gov.ph/>

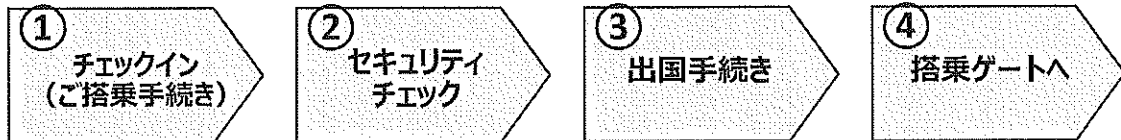
**5/18 朝にQRコードをチェックします！**

# 諸注意

## 出国手続きについて

不測の事態も想定し、集合時間より早めに到着することをお勧めします。空港につきましたら日程表に記載された集合場所に向かってください。ご出発当日は、「パスポート」と「しおり」を必ずお持ちください。

注意！ 集合時間に遅れた場合、航空会社のカウンターが閉まってしまうことがあります。一度カウンターが閉まってしまうと以後のチェックインが一切できず、ご搭乗頂くことができませんので集合時間は厳守してください。



- パスポート
- Eチケット控え
- eTravel 登録画面

### チェックイン

カウンターにてパスポート、Eチケット（航空券）を提示のうえ、搭乗券（ボーディングパス）を発行してもらいます。  
ご利用航空会社チェックインカウンターにて、航空機預け荷物（スーツケースなど）を預け、引き換えにクレームタグ（荷物引換券）を受け取ります。  
注意！ 必ず、スーツケースへネームタグをお付けください！

### セキュリティチェック

手荷物検査及びボディチェックを行います。  
注意！ 液体物を入れたプラスチック袋は、バッグから出して検査トレーに載せてください。輸送禁止品、機内持ち込み制限品、機内への液体物持込制限注意などをご確認ください。

### 出国審査手続

出国審査カウンターにて、パスポート・搭乗券の2点をご提示の上、お早めに出国検査をお済ませください。  
注意！ この時、パスポートを置き忘れないように。

### 搭乗口へ

ご利用予定の搭乗ゲートは当日に決まります。空港に到着後、フライトボードでご確認ください。  
注意！ 余裕をもって搭乗口に向かってください。

## ■ 荷物について確認を

航空機預け荷物、機内持ち込み荷物ともに、サイズや個数に制限があります。予めご利用航空会社のホームページなどで確認をしましょう。

### ● 大事なものは機内持ち込み

パスポート、現金などの貴重品やカメラ、機内で使用するもの、届出の必要なものは機内持ち込み荷物に入れましょう。

また、はさみ、爪切りなどは機内に持ち込むことができませんので、航空機預け荷物に入れてください。

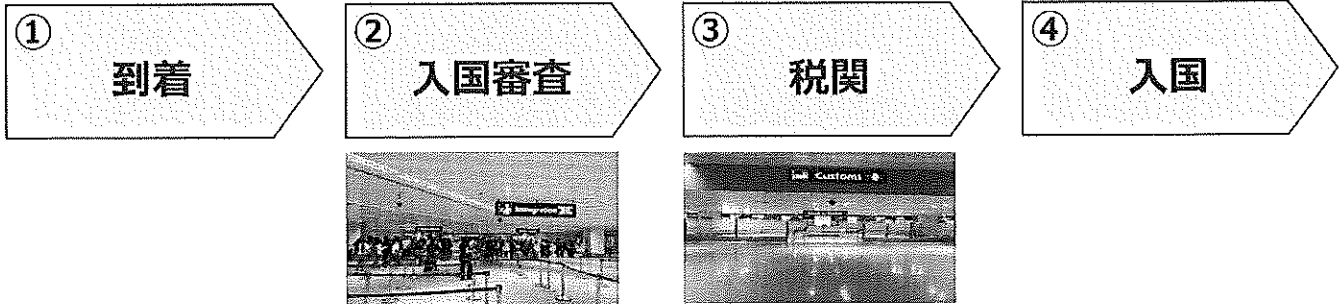
### ● もしものために

荷物が届かないなどのトラブルに備えて、1日分の着替えや化粧品などを機内持ち込み荷物にさせていただくと安心です。

# 諸注意

## フィリピン入国手続きについて

今一度、パスポート、搭乗券、クレームタグ、eTravel登録画面もしくはその紙面をご確認ください。



### 到着

「ARRIVALS」の表示に従い、入国審査カウンターまで移動。

注意！人の流れについていけばいいと思っははいけません。しっかりと先生の指示に従ってください。

### 入国審査

案内標識に従い、入国審査の外国人専用カウンターへ並びましょう。審査官にパスポートを提示し、指紋と顔写真の登録をします。

入国目的や滞在期間などを聞かれたり、復路の航空券の提示を求めたりする国もあれば、パスポートを簡単に確認するだけの国もあります。下記書類をご準備下さい。

- パスポート
- 搭乗券 ※復路が記載されたEチケットの場合も。審査官の指示に従ってください

ここで係員にいくつか質問されることがあります。慌てず落ち着いて答えましょう。

Q. How long are you staying ?  
(何日間滞在予定ですか?)

A. 5 days.  
(5日間です。)

Q. What's the purpose of your visit  
(入国の目的は何ですか?)

A. **Sightseeing.**  
(観光です。)

※重要：SCHOOL(スクール)やSTUDY(スタディ)という言葉は控えましょう。

パスポートに入国のスタンプを押してもらえば無事フィリピンへの入国完了です。

### 荷物受け取り

### 税関

自身のフライト番号の表示がされたターンテーブルから自身の荷物を取り出します。その後、税関審査を行います。税関審査においては、申告するものがなければ緑のレーン「Nothing to Declare」へお進み下さい。尚、eTravel登録後に発行されるQRコードの提示や無作為に荷物の検査を求められる場合がございます。

注意！抜き打ち検査が実施されることがありますが、怖がらず検査官の指示に従えば問題ありません。

### 到着

最後のゲートをくぐり、入国となります。

到着フロアにて、現地係員が看板を持ってお待ちしております。

現地係員が見つけやすいようにスーツケースにはローマ字氏名を書いたHISのタグを付けてください。

## 諸注意

### 入国審査時の英会話

- ・係官 : What's the purpose of your visit? (訪問の目的は?)
- ・生徒 : Sightseeing. (観光です。)
- ・係官 : How long will you be staying? (何日滞在しますか?)
- ・生徒 : For five days. (5日間です。)
- ・係官 : Where are you staying? (どこに滞在しますか?)
- ・生徒 : MJ Hotel and suites. (MJホテル&スイーツです。)
- ・係官 : Is this your first visit to our country? (この国に来るのは初めてですか?)
- ・生徒 : Yes. / No. (はい。/いいえ。)



#### こんなことを聞かれる場合も…

- ・係官 : Do you have any foods (plants or fruits)?  
(食べ物 (植物や果物) を持っていますか?)
- ・生徒 : No. (いいえ。)  
※No.と答えましょう。  
その後、指紋を取り、写真を撮られます。
- ・係官 : Please place your thumb here. Next, hand here.  
(ここに親指を置いてください。次に手をここに。)
- ・生徒 : 【親指、手の平の順で置く】
- ・係官 : Look here. (ここを見てください)
- ・生徒 : 【レンズを見る】 ※写真が撮られます。

### ホテル内

- (1) 飲食物等の購入は許可するが、ゴミは各自で責任を持って片付けること。
- (2) ホテルや他の宿泊客の迷惑にならないよう自覚ある行動を心掛けること。
- (3) 廊下を走ったり、むやみに他の部屋やフロアへ立ち入ったりしないこと。
- (4) 許可されていない施設 (ゲームセンター等) の利用や立ち入りをしないこと。  
また、異性の部屋には絶対に入らないこと。
- (5) 部屋の整理整頓をし、自分の持ち物、貴重品の管理に責任を持つこと。
- (6) カードキーは各部屋で管理し、班別行動時は先生に預けること。